

いいこと
コトウラ
歴史・文化

後醍醐天皇と船上山

古くより修験の行場であったといわれる船上山は、『太平記』にも記された、後醍醐天皇と名和長年の討幕合戦の古戦場としても知られます。1332(元弘2)年、鎌倉幕府倒幕計画失敗により隠岐の島へ配流された翌年、島から脱出した後醍醐天皇は、名和長年らとともに船上山に立てこもり、幕府軍と対峙します。幕府軍の兵の数は10倍以上。この難局を乗り越え勝利を収めた後、後醍醐天皇は京都へ戻り、建武の親政を開始するなど、再び政治の表舞台へ立つ礎となった歴史のある山です。



「太平記」の舞台 船上山



天皇水

船上山から下山し京都へ還幸の道中、大岩を指差し「この岩を起こせば水が湧いて出る」と言われ、その通り清水が湧いていたという後醍醐天皇伝説の地「天皇水」。今も清水が湧き出ています。



船上山行宮碑

船上山山頂にある休憩舎では、西は島根半島から北は隠岐の島まで一望することができます。後醍醐天皇がこの地でたびたび野立てをされたといわれ、1924(大正13)年、行宮碑が建立されました。



神崎神社

本殿と拝殿の扉・向拝の彫刻は県の保護文化財に指定されており、その美しさは芸術品と思えるほど見事です。随所に彫刻が施され、どれも精巧で見る人を魅了します。なかでも、向拝の天井に彫られた全長16メートルの龍は圧巻の迫力です。



後世へと受け継がれる遺産



波止のまつり

神崎神社の例大祭にあわせ、2日間にわたって開催される祭り。初日の夜は、花火や屋台で赤碕漁港周辺が賑わいます。翌日には、赤碕の漁船による海上パレード「船御幸」が行われ、約20隻の漁船が町内の沖を一周し、豊漁と安全を祈願します。



白鳳栄華の地

国指定特別史跡 斎尾廃寺跡

白鳳時代(飛鳥時代後期)に建立された古代の寺院跡です。金堂や塔、講堂などの基壇や礎石がよく残ることから、西に塔、東に金堂を配する法隆寺式伽藍配置の古代寺院であったことが判明し、山陰地方では他に例がなく注目されます。また、出土遺物でも紀寺式軒丸瓦、法隆寺式軒平瓦などは山陰地方に例がなく、多くの謎を秘めた遺跡です。このほか「八寺」と書かれた土器も発見されるなど、当時の郡名である八橋を冠した寺院であったことも明らかになり、近接する国史跡大高野官衙遺跡とともに古代の琴浦町ばかりか、古代の地方寺院、地方行政の在り方を窺い知ることができる大変貴重な遺跡です。



四百年の時を
琴浦の歴史に刻む



白鳳祭

白鳳時代に建立された国の特別史跡「斎尾廃寺」にちなんだお祭りで、毎年8月初旬に盛大に開催される夏の琴浦町の大イベントです。花火・レーザーライト・音楽が競演する花火ショーは必見です。



国指定重要文化財 河本家住宅

河本家は、江戸初期から明治初めまで、八橋郡の大庄屋を歴代務めた由緒ある家系で、河本家住宅は国の重要文化財に指定されています。屋根は茅葺きで箱棟としており、小屋組みは合掌作り。炊事場のかまどの上を壁土で覆った煙返しは防火施設として大変珍しいものです。

八雲が歩いた町



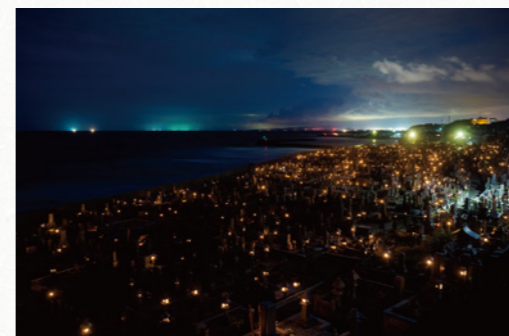
写真協力：小泉八雲記念館

小泉 八雲

日本の伝統的精神や文化を愛した小泉八雲は、多くの作品をとおして日本を広く世界に紹介しました。そんな八雲は、新婚旅行で妻のセツと訪れた静かに佇む海沿いの町「八橋」と宿泊した旧中井旅館を大層気に入り、その感動を書簡や随筆に残しています。



旧中井旅館



花見瀉墓地

琴浦町の海岸線に沿って立地する東西約350mにおよぶ広大な墓地で、自然発生による墓地としては西日本最大規模です。2万余基の墓があり、お盆には灯笼に灯された無数の火がなんと幻想的な風景を見せてくれます。

塩谷が愛した故郷の風景

塩谷 定好

塩谷定好は山陰地方の自然や人を撮り続け、芸術写真の草分け的存在として、国内外で高く評価されている写真家です。写真記念館では、ギャラリーはもちろん、生前の愛用品が展示されており、当時の生活ぶりを感じられます。記念館は、国の有形文化財に登録されています。

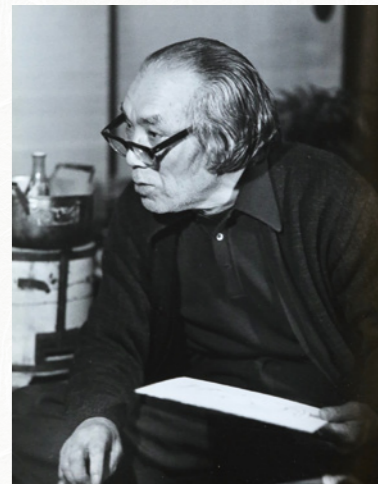


塩谷定好写真記念館

写真協力：塩谷定好写真記念館



写真協力：鳥取県立博物館



写真協力：塩谷定好写真記念館

空也上人ゆかりの地



空也上人像



転法輪寺

寺伝によれば慈覚大師が開いたと伝えられる天台宗の寺院で、空也上人が仏門に入った翌年この地で亡くなったと伝えられています。寺には「木造空也上人像」が安置されているほか、「空也上人御事蹟絵巻」などがあり、本堂は国の有形文化財にも登録されています。